

# 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 31 日

上 場 会 社 名 株式会社トプコン

上場取引所 東証一部、大証一部

コード番号 7732

URL <a href="http://www.topcon.co.jp/">http://www.topcon.co.jp/</a>

代 表 者(役職名)取締役社長

(氏 名) 横倉 隆

問合せ先責任者(役職名)取締役兼専務執行役員 総務・経理グループ統括

(氏 名) 沖田和夫

TEL (03) 3558-2536

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日~平成19年12月31日)

### (1)連結経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	85, 011	6. 2	8, 460	△15.7	7, 788	△16.3	5, 161	△1.6
19年3月期第3四半期	80, 040	7. 3	10, 037	22. 6	9, 306	29. 5	5, 243	31. 7
19年3月期	110, 490		15, 276		14, 233		8, 549	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	55. 73	
19年3月期第3四半期	56. 61	
19年3月期	92. 30	

### (2)連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
20年3月期第3四半期	110, 958	58, 815	51. 1	612. 65	
19年3月期第3四半期	94, 582	51, 928	54. 4	555. 14	
19年3月期	99, 859	55, 181	54. 8	590. 45	

### (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	
20年3月期第3四半期	4, 062	△10, 377	7, 544	10, 276	
19年3月期第3四半期	5, 413	△5, 040	△1,823	7, 656	
19年3月期	6, 708	△5, 689	Δ1, 123	9, 000	

#### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金					
(基準日)	中間期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭			
19年3月期	10.00	10.00	20. 00			
20年3月期(実績)	11.00					
20 年 3 月期(予想)		5. 00	16. 00			

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

平成 20 年 3 月期の通期の連結業績予想につきましては、平成 19 年 12 月 26 日に「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」として公表いたしました内容から、変更はありません。

尚、これに関する定性的情報につきましては、7頁に記載の「3.連結業績予想に関する定性的情報」を、ご参照下さい。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無無

(参考)平成 20 年 3 月期第 3 四半期 (3 ヶ月)の連結業績 (平成 19 年 10 月 1 日~平成 19 年 12 月 31 日)

#### 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	27, 882	8. 7	1, 720	△19.6	1, 391	△30.6	885	△18.9
19年3月期第3四半期	25, 644	6. 1	2, 139	△15.8	2, 006	△21.0	1, 091	△31.2

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	9. 56	
19年3月期第3四半期	11. 78	

上記の業績予想については、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を 前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、本予想値と異なる場合があります。

### (参考)個別業績の概要

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日~平成19年12月31日)

#### (1)個別経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

7 III 10 1 I I I I I I I I I I I I I I I								
	売上高	売上高 営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	38, 487	8. 2	2, 282	△32.0	3, 494	△28.0	2, 741	△30.9
19年3月期第3四半期	35, 564	6.6	3, 354	28. 7	4, 852	55. 6	3, 965	80. 9
19年3月期	49, 374		4, 717		6, 749		6, 378	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	29. 60	
19年3月期第3四半期	42. 81	
19年3月期	68. 87	

### (2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	71, 578	43, 692	61.0	471. 73
19年3月期第3四半期	70, 132	41, 445	59. 1	447. 46
19年3月期	73, 648	43, 868	59. 6	473. 62

2. 平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

平成 20 年 3 月期の通期の個別業績予想につきましては、平成 19 年 12 月 26 日に「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」として公表いたしました内容から、変更はありません。

上記の業績予想については、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を 前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、本予想値と異なる場合があります。

### 【定性的情報·財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(2007年4月~12月・9ヶ月)の経済環境は、米国経済では、前半では、住宅セグメントの変調等からの減速懸念が謂われ始めていたものの、個人消費・設備投資の堅調で、底堅い動きでしたが、後半に至り、住宅セグメントでの在庫の急増、住宅価格の低下、サブプライムローン問題による金融不安の台頭、原油価格の高騰、等々が、月毎に顕在化し、個人消費等の実体経済への波及と、サブプライムローン破綻の金融不安が米国のみに止まらず、欧州等、他国・他地域まで及んでの世界的な経済の減速が、大きなリスクとして認識される厳しいものとなりました。欧州経済は、総じて堅調な推移を続け、中国経済も2007年度に11%を超える高いGDP成長の達成が確実視されていますが、これらにも、さらに、米国経済とは別物のように高い成長が期待される新興国経済にも、米国を震源地とする経済減速の翳りが、次第に拡がりつつあるように見受けられます。日本経済では、堅調な企業業績を背景としての旺盛な設備投資や、新興国群への輸出の増勢で、今まで手堅い成長軌道を歩んで来たものの、昨今では、米国経済の減速や、信用不安の波及、世界的なマネーフローの急速な変化、等々により、成長の伸び鈍化の兆しが顕われて来ているように思われます。

こうした世界経済の減速を食い止めるべく、米国は元より、先進諸国・新興国群が協調してのリセッション回避政策が採られている結果、2008年度末までに、比較的短期で、景気回復が見られることが期待されますが、そのような場合でも、今後は、各国・地域毎に画一的ではない、厳しい経済環境となることが予想されます。

このような経済環境・事業環境にあって、当第3四半期(9ヶ月)での、当社グループの連結業績につきましては、ポジショニングビジネスが、米国市場での住宅セグメントの大幅な落ち込みに伴ない相当の減収となりましたが、欧州市場や、その他の新興国市場での売上伸長によって、堅調な伸びが確保出来、アイケアビジネスでは、特に欧州市場において、新製品を中心に好調に推移し、第3の柱であるファインテックビジネスでは、国内外で、半導体関連検査装置や、新世代DVD用光学部品等が増収であったことにより、売上高では、850億1千1百万円と、前年度第3四半期(9ヶ月)に比べ、6.2%の増加となりました。

営業利益は、こうした売上高の伸長にも拘らず、ポジショニングビジネスでの、米国住宅市場の落込みに伴なう価格競争の激化、製品販売構成の変化による採算の悪化、欧州等市場でも競争市場の転移に伴なう価格低下があり、さらに、欧州市場で好調な伸びを示したアイケアビジネスも同時に、今後の更なる事業構造改革を目指しての、販売網の強化や、新製品の市場投入の加速のための、高水準の資源投資が継続していることに伴ないまして、営業利益全体では、84億6千万円と、前年度第3四半期(9 $\tau$ 月)に比べ、 $\Delta$ 15.7%の減少となりました。

経常利益は、この営業利益の減少に加え、積極的な資源投資対応での借入資金の増加に伴なう資金コストの負担増があった一方、持分法を適用している関係会社の業績が改善しての寄与(営業外損益)もあって、77億8千8百万円と、前年度第3四半期(9ヶ月)と比べ、 $\Delta 16.3$ %の減少となりました。

第3四半期純利益は、世界の各国・地域毎での利益の構成の変化と、税負担率の違いに伴なう税 負担の軽減効果もあって、51億6千1百万円と、前年度第3四半期(9  $_{7}$ 月)に対し、 $_{1}$   $_{6}$   $_{7}$ 0  $_{8}$ 0  $_{8}$ 0  $_{1}$ 0  $_{1}$ 0  $_{1}$ 1  $_{1}$ 2  $_{2}$ 3  $_{3}$ 3  $_{4}$ 1  $_{5}$ 3  $_{5}$ 4  $_{6}$ 5  $_{7}$ 6  $_{8}$ 6  $_{8}$ 7  $_{1}$ 7  $_{1}$ 8  $_{2}$ 9  $_{3}$ 9  $_{4}$ 1  $_{5}$ 1  $_{5}$ 1  $_{5}$ 1  $_{5}$ 2  $_{5}$ 3  $_{5}$ 3  $_{5}$ 4  $_{5}$ 5  $_{5}$ 5  $_{5}$ 6  $_{5}$ 7  $_{5}$ 9

事業セグメント毎の経営成績の状況は、次の通りであります。

当社の主力事業であるポジショニングビジネスでは、米国市場において、特に10-12月期に顕在化した、住宅セクターの予想を大きく上廻る落ち込みの中で、販売価格・製品販売構成の両面で、大幅な影響を受けました。日本市場でも、建築確認問題からの市場の冷え込みが続き、深刻な状況があります。一方、欧州市場では、従来からの強化戦略により、GPSを核とした測量システム、3 Dマシンコントロールシステム、1 ンプリズムトータルステーションが好調に推移して参りましたが、特に第3四半期(9 ヶ月)の後半では、米国市場から欧州への競争市場の転移により、採算面で厳しい対応が求められました。また、グローバル市場では、期待の新しい市場であるアグリカルチャー分野での拡販や、GIS市場向けの新製品の拡販が寄与しました。これらの結果、ポジショニングビジネスの売上高は、3 9 7億7千万円(前年度第3四半期(9 ヶ月)比、4 . 4%増加)となりました。しかし、営業利益では、上記の、特に当第3四半期(9 ヶ月)後半での厳しい市況への対応と、次の事業拡大に向けての資源投資負担とに伴ない、4 9億9千4百万円(対前年度第3四半期(9 ヶ月)比、 $\Delta$  2 6 . 8%減少)となりました。

アイケアビジネスでは、好況の欧州市場において、眼科医向けデジタル画像ファイリングシステムのIMAGEnetや、それに接続される検査機器、糖尿病スクリーニングで使用されている無散瞳眼底カメラが、順調に推移し、さらに、新製品の3次元眼底像撮影装置の好調が寄与して、大幅な増収となりました。一方で、前年度に中南米・中東等のエマージングマーケットにおいて受注・売上があった大口案件が、当年度では、相対的に減少したことや、日本国内で、眼鏡店向け、医科向けの製品市場に於て、競争激化の影響がありました。これらの結果、アイケアビジネスの売上高は、311億5千4百万円(前年度第3四半期(9ヶ月)比、8.0%増加)と伸長しましたが、営業利益では、売上構成の変化や、競争激化の影響により、41億4千1百万円(前年度第3四半期(9ヶ月)比、3.8%増加)と、売上高の伸びよりも低い増加幅に止まりました。

ファインテックビジネスでは、前年度第3四半期(9ヶ月)に対し、半導体関連検査装置が好調でありましたのに加え、新世代DVD用等の光学エンジンの販売が伸長しましたが、FPD関連検査装置が国内外の市場の冷え込みの中、不振に終りました。これらの結果、ファインテックビジネスの売上高は、140億8千6百万円(前年度第3四半期(9ヶ月)比、7.3%増加)と増加し、営業利益では、 $\Delta6$ 億7千5百万円の赤字ではありましたが、前年度第3四半期(9ヶ月)に対して、事業の「選択と集中」効果により、1億2百万円の改善となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 当第3四半期の財政状態の状況

当第3四半期の財政状態は、総資産が1,109億5千8百万円、純資産が588億1千5百万円、自己資本比率が51.1%となりました。

総資産は、営業の譲受ならびに連結子会社となる会社の新規取得に伴なう「のれん」の増加、および「たな卸資産」の増加等により、前期末(平成19年3月末)に比べ、110億9千9百万円増加いたしました。また、純資産は、「剰余金の配当」による減少はありましたものの、「第3四半期純利益」により、36億3千4百万円増加いたしました。これらの結果、自己資本比率は前期末(平成19年3月末)に比べ、 $\Delta 3.7%$ 減少しました。

#### (2) 当第3四半期のキャッシュ・フローの状況

当第3四半期(9ヶ月)における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業の譲受に伴なう支出、連結子会社となる会社の新規取得、ならびに、法人税の支払いや配当金の支払い等があったものの、税金等調整前第3四半期純利益や、短期借入金及び長期借入金の増加等による「資金」の増加により、前期末に比べ、12億7千6百万円増加し、102億7千6百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期(9ヶ月)における営業活動による「資金」の増加は、40億6千2百万円(前年度第3四半期(9ヶ月)は54億1千3百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前第3四半期純利益77億8千8百万円等による「資金」の増加の一方、法人税等の支払い40億4千8百万円による「資金」の減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期(9ヶ月)における投資活動による「資金」の減少は、103億7千7百万円(前年度第3四半期(9ヶ月)は $\Delta50$ 億4千万円の減少)となりました。これは主に、営業の譲受に伴う支出65億5千2百万円、連結子会社となる会社の新規取得19億4千8百万円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期(9ヶ月)における財務活動による「資金」の増加は、75億4千4百万円(前年度第3四半期(9ヶ月)は $\triangle$ 18億2千3百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払19億4千3百万円に伴う「資金」の減少の一方、営業の譲受や連結子会社となる会社の新規取得に対応しての、短期及び長期での借入金の増加95億1千万円による「資金」の増加によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当年度(平成20年3月期)の通期業績予想につきましては、平成19年12月26日に「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますが、現時点で、当該予想の内容から変更はありません。

平成19年の終わりから、平成20年の年明けに掛けて、米国経済を始め、サブプライムローン 等からの信用不安の波及に伴なう世界経済の減速懸念の高まりを受けて、各国・地域による金融政 策等の調整が続いており、為替相場も、他の経済指標同様、非常に見通しの付け難い、先行不透明 な状況にあります。

当社グループの通期業績予想は、概ね、平成19年の末頃の為替相場を前提と致しておりますが、 海外事業の比率が高いという特性のため、今後の為替相場の変動によっては、現在の通期業績予想 に影響が生じることが考えられます。

(注)上記の業績予想については、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に 関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、本予想値と異なる場合があります。

(注) 当社は、平成 19 年 12 月 10 日に、「株式会社ソキア株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」を公表し、平成 19 年 12 月 11 日から、(株)ソキア株式の公開買付けを行なっておりましたが、平成 20 年 1 月 29 日に、当該公開買付けが成立いたしました。これに伴なう、当年度の通期業績予想への影響は、その有無も含めて、判明次第、別途報告いたしますが、現時点では、上記の通期業績予想には、そうした影響は、一切含まれておりません。

# 4. 四半期連結財務諸表

# (1) 四半期連結貸借対照表

	1		1	(単位:白力円)
期別	当第3四半期	前期	増減	前第3四半期
科目	平成19年12月31日現在	平成19年3月31日現在	21 1/94	平成18年12月31日現在
	金 額 構成比	金 額 構成比	金 額 増減率	金 額 構成比
( 資 産 の 部 ) <b>流 動 資 産</b>	%	%		
流動資産現金及び預金	( 71, 295 ) 64. 3 10, 341	( 68, 210 ) 68. 3 9, 068	( 3, 084 ) 4. 5 1, 272	( 62, 851 ) 66. 5 7, 722
受取手形及び売掛金	30, 415	31, 447	$\triangle 1,032$	27, 483
たな卸資産	23, 084	20, 187	2, 896	20, 360
繰 延 税 金 資 産	4, 482	4, 491	△ 9	4, 356
そ の 他	4, 020	4, 017	3	4,070
貸 倒 引 当 金	△ 1,049	△ 1,001	△ 47	△ 1,141
固 定 資 産	( 39, 663 ) 35. 7	( 31, 648) 31.7	( 8, 014) 25. 3	( 31, 731 ) 33. 5
有 形 固 定 資 産	( 14, 139 ) 12. 7	( 14, 076 ) 14. 1	( 63) 0.4	( 14, 167 ) 15. 0
建物及び構築物	6, 049	6, 138	△ 88	6, 227
機械装置及び運搬具	4, 215	4, 431	△ 216	4, 400
土地	1, 133	1, 138	△ 5	1, 141
その他	2, 741	2, 368	373	2, 399
	( 15 004) 10 0	(	( 0.050) 140.0	( 0.150) 0.5
<b>無形固定資産</b> の れ ん	( 15, 384 ) 13. 9 11, 626	( 6, 326 ) 6. 3 4, 155	( 9, 058 ) 143. 2 7, 470	( 6, 172 ) 6. 5 4, 073
その他	3, 758	2, 170	1, 587	2, 099
	0, 100	2, 110	1,001	2, 000
投資その他の資産	( 10, 139 ) 9. 1	( 11, 245) 11.3	$( \triangle 1, 106 ) \triangle 9.8$	( 11, 390 ) 12. 0
世 投資 て の 他 の 員 産 投資 有 価 証 券	6, 798	8, 286	$ \begin{array}{c cccc}  & \angle & 1,100 \\  & \triangle & 1,487 \end{array} $	8, 329
長期貸付金	478	637	△ 158	794
繰延税金資産	1, 981	1, 492	489	1, 439
そ の 他	966	872	93	870
貸倒引当金	△ 85	△ 42	△ 43	△ 42
資 産 合 計	110, 958 100. 0	99, 859 100. 0	11,099 11.1	94, 582 100. 0
			<u> </u>	

	1				I		(単位:_ T	白力円)
期別	当第3四半	<b>半期</b>	前期		194 %	4	前第3四半	半期
	平成19年12月3	1日現在	平成19年3月31	日現在	増源	<b></b>	平成18年12月3	1日現在
科目				T		T		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)		%		%		%		%
流動負債	( 38, 471)	34. 7	` ' '	37. 6	•	2. 5	, , ,	33. 0
支払手形及び買掛金	12, 928		13, 086		△ 157		12, 893	
短期借入金	16, 763		13, 962		2, 800		9, 161	
未 払 費 用	5, 334		5, 857		△ 522		4, 663	
未払法人税等	1, 042		2, 695		△ 1,653		1, 774	
繰延税金負債	3		3		_		3	
役員賞与引当金	19		46		△ 27		34	
そ の 他	2, 380		1, 890		489		2, 679	
固 定 負 債	( 13,670)	12. 3	( 7, 135)	7. 1	( 6,535)	91. 6	( 11, 442)	12. 1
長期借入金	7, 117		106		7, 011		4, 204	
繰 延 税 金 負 債	362		384		△ 21		362	
退職給付引当金	6,010		6, 441		△ 431		6, 681	
役員退職慰労引当金	99		133		△ 34		124	
そ の 他	81		69		11		70	
負 債 合 計	52, 142	47. 0	44, 677	44. 7	7, 465	16. 7	42, 653	45. 1
(純資産の部)								
│ 株 主 資 本	( 53, 924)	48.6	( 50, 717)	50.8	( 3, 207)	6.3	( 47, 414)	50. 1
資 本 金	10, 297	9.3	10, 297	10.3	0	0.0	10, 297	10.9
資 本 剰 余 金	14, 711	13. 3	14, 711	14. 7	0	0.0	14, 711	15.6
利 益 剰 余 金	28, 970	26. 1	25, 759	25.8	3, 210	12. 5	22, 456	23. 7
自 己 株 式	△ 54	△ 0.1	△ 51	_	△ 2	5. 3	△ 51	△ 0.1
評価・換算差額等	( 2,820)	2. 5	( 3,972)	4.0	( △ 1, 152 )	△ 29.0	( 4,004)	4. 3
その他有価証券評価差額金	1,823	1.6	2,800	2.8	△ 976	△ 34.9	2, 791	3.0
繰延ヘッジ損益	△ 6	_	△ 5	_	△ 1	24. 3	△ 8	_
為替換算調整勘定	1,003	0.9	1, 178	1.2	△ 174	△ 14.8	1, 221	1.3
少数株主持分	2,070	1. 9	491	0. 5	1, 578	321. 1	509	0.5
純 資 産 合 計	58, 815	53. 0	55, 181	55. 3	3, 634	6. 6	51, 928	54. 9
負債・純資産合計	110, 958	100.0	99, 859	100.0	11, 099	11. 1	94, 582	100.0

# (2) 四半期連結損益計算書

E	7	-		(単位:白万円)				
期別	前第3四	半期	当第3四	半期			前期	
77,1	自 平成18年	4月 1日	自 平成19年	4月 1日	増	咸	自 平成18年	4月 1日
科目	至 平成18年1	2月31日	至 平成19年1	2月31日			至 平成19年	3月31日
77 1	金 額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金 額	百分比
		%		%		%		%
売 上 高	80, 040	100.0	85, 011	100.0	4, 970	6. 2	110, 490	100.0
売 上 原 価	44, 009	55. 0	46, 561	54. 8	2, 552	5. 8	59, 650	54. 0
売 上 総 利 益	36, 031	45.0	38, 449	45. 2	2, 418	6. 7	50, 839	46.0
販売費及び一般管理費	25, 993	32. 5	29, 989	35. 2	3, 996	15. 4	35, 563	32. 2
営 業 利 益	10, 037	12. 5	8, 460	10.0	△ 1,577	△ 15.7	15, 276	13.8
営 業 外 収 益	( 457)	0.6	( 784)	0.9	( 327)	71.6	( 677)	0.6
受取利息及び配当金	151		149		△ 1		215	
持分法による投資利益			224		224			
持 分 変 動 差 益			61		61			
そ の 他	305		348		42		462	
営 業 外 費 用	( 1, 187)	1.5	( 1,455)	1. 7	( 267)	22. 5	( 1,720)	1.5
支 払 利 息	500		938		438		691	
持分法による投資損失	153				△ 153		168	
たな卸資産廃却損	147		121		△ 26		316	
たな卸資産評価損	32		12		△ 20		30	
為  替  差  損	89		74		△ 14		119	
そ の 他	264		308		44		394	
経 常 利 益	9, 306	11.6	7, 788	9. 2	△ 1,518	△ 16.3	14, 233	12. 9
税金等調整前第3四半期 (当期) 純利益	9, 306	11.6	7, 788	9. 2	△ 1,518	△ 16.3	14, 233	12. 9
法人税、住民税及び事業税	3, 740	4. 7	2, 354	2.8	△ 1,385	△ 37.1	5, 418	5.0
法 人 税 等 調 整 額	215	0.2	183	0.2	△ 32	△ 15.2	131	0. 1
少数株主利益	107	0.1	90	0.1	△ 17	△ 16.5	134	0. 1
第3四半期(当期)純利益	5, 243	6.6	5, 161	6. 1	△ 81	△ 1.6	8, 549	7. 7

### (3) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:百万円)

			株主資本				評価・抽	與算差額等			
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算調整勘定	評価・換算 差額等合計	少数株主持分	純資産 合計
平成18年3月31日 残高	10, 297	14, 711	19, 065	△49	44, 025	3, 241		513	3, 754	388	48, 169
第3四半期中の変動額											
剰余金の配当			△1,852		△1,852						△1,852
第3四半期純利益			5, 243		5, 243						5, 243
自己株式の取得				△1	△1						$\triangle 1$
株主資本以外の項目の 第3四半期中の変動額(純額)						△449	△8	708	250	120	370
第3四半期中の変動額 合計	0	0	3, 390	△1	3, 388	△449	△8	708	250	120	3, 759
平成18年12月31日 残高	10, 297	14, 711	22, 456	△51	47, 414	2, 791	△8	1, 221	4, 004	509	51, 928

### 当第3四半期(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

										(   122 •	D 22   11
			株主資本				評価・独	與算差額等			
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算調整勘定	評価・換算 差額等合計	少数株主持分	純資産 合計
平成19年3月31日 残高	10, 297	14, 711	25, 759	△51	50, 717	2,800	△5	1, 178	3, 972	491	55, 181
第3四半期中の変動額											
剰余金の配当			△1, 945		△1, 945						△1, 945
第3四半期純利益			5, 161		5, 161						5, 161
自己株式の取得				$\triangle 2$	$\triangle 2$						$\triangle 2$
その他			△5		△5						△5
株主資本以外の項目の 第3四半期中の変動額(純額)						△976	△1	△174	△1, 152	1,578	426
第3四半期中の変動額 合計	0	0	3, 210	$\triangle 2$	3, 207	△976	△1	△174	△1, 152	1,578	3, 634
平成19年12月31日 残高	10, 297	14, 711	28, 970	△54	53, 924	1,823	$\triangle 6$	1,003	2, 820	2,070	58, 815

### 前期(自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)

										(甲12):	白力円)
			株主資本				評価・独	與算差額等			
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算調整勘定	評価・換算 差額等合計	少数株主持分	純資産 合計
平成18年3月31日 残高	10, 297	14, 711	19, 065	△49	44, 025	3, 241		513	3, 754	388	48, 169
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△1,852		△1,852						△1,852
当期純利益			8, 549		8, 549						8, 549
自己株式の取得				$\triangle 2$	$\triangle 2$						$\triangle 2$
その他			$\triangle 2$		△2						$\triangle 2$
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△441	△5	664	218	102	320
連結会計年度中の変動額 合計	0	0	6, 693	△2	6, 691	△441	△5	664	218	102	7,011
平成19年3月31日 残高	10, 297	14, 711	25, 759	△51	50, 717	2, 800	△5	1, 178	3, 972	491	55, 181

# (4) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	,			(単位:百万円)
	前第3四半期	当第3四半期		前 期
期別	自平成18年 4月 1日	自平成19年 4月 1日	増 減	自平成18年 4月 1日
科目	至平成18年12月31日	至平成19年12月31日		至平成19年 3月31日
	金額	金額	金額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前第3四半期(当期)純利益	9, 306	7, 788	$\triangle 1,518$	14, 233
2. 減価償却費	2, 421	2, 824	402	3, 287
3. 貸倒引当金の増減額(減少:△)	△342	90	432	△480
4. 受取利息及び受取配当金	△151	△149	1	△215
5. 支払利息	500	938	438	691
6. 持分法による投資損益(利益:△)	153	∆285	△439	168
7. 退職給付引当金の増減額(減少:△)	△375	∆431	△55	△614
7. 受極相内引 = 3. 行人   1	2, 946	1, 671	$\triangle 1,275$	$\triangle 1,047$
6. 元工資権の増減額 (増加 · △)   9. たな卸資産の増減額 (増加 · △)		-		
	△3, 284	△1, 900	1, 384	△3, 147
10. 前払費用の増減額(増加:△)	△685	△499	186	△492
11. 仕入債務の増減額 (減少:△)	934	△813	$\triangle 1,748$	1, 112
12. 未払費用の増減額(減少:△)	△815	△720	95 	510
13. その他	△512	272	785	△1, 639
小計	10, 096	8, 785	△1, 310	12, 366
14. 利息及び配当金の受取額	139	134	$\triangle 5$	234
15. 利息の支払額	△377	△809	△431	△688
16. 法人税等の支払額	△4, 444	△4, 048	396	△5, 203
営業活動によるキャッシュ・フロー	5, 413	4, 062	$\triangle 1,351$	6, 708
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 定期預金の預入による支出	△47	△96	$\triangle 49$	△86
2. 定期預金の払戻による収入	40	100	60	76
3. 有形固定資産の取得による支出	$\triangle 1,762$	$\triangle 2,477$	$\triangle 714$	$\triangle 2,375$
4. 有形固定資産の売却による収入	71	61	$\triangle 10$	97
5. 無形固定資産の取得による支出	△380	△251	129	△541
6. 投資有価証券の取得による支出	△914	_	914	△970
7. 投資有価証券の売却による収入	29	0	$\triangle 29$	28
8. 新規連結子会社の取得による支出	△1, 885	△1, 948	<u></u> △63	△1, 868
9. 長期貸付による支出	△139	△484	∆344	△162
10. 長期貸付金の回収による収入	503	521	18	676
11. 営業の譲受による支出	0	△6, 552	$\triangle 6,552$	0
11. 古来の最又による又出   12. その他	△553	749	1, 302	△564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5, 040	△10, 377		△5, 689
1人員旧野によるコギンマユ・ノロ	△5,040	△10, 511	$\triangle 0, 331$	△5,009
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー				
	220	2 100	9 000	9 094
1. 短期借入金の純増減額(減少:△)	229	3, 129	2, 900	2,024
2. 長期借入金の返済による支出	△200	△511	△311	△1, 297
3. 長期借入による収入	0	6, 892	6, 892	0
4. 自己株式の取得による支出	$\triangle 1$	$\triangle 2$	_	$\triangle 2$
5. 少数株主からの払込による収入	0	22	22	0
6. 配当金の支払額	△1,850	△1, 943	$\triangle 93$	△1,848
7. その他	_	△42	△42	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,823	7, 544	9, 367	△1, 123
  IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	173	△10	△184	171
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△1, 275	1, 218	2, 494	67
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8, 932	9,000	67	8, 932
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	57	57	0
Ⅷ 現金及び現金同等物の第3四半期末(期末)残高	7, 656	10, 276	2,619	9,000
	.,	==,=.	_, ~ _ ~	-, , , , ,
	1	ı		i .

### セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

### 前第3四半期(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	測量機器 事 業	医用機器 事 業	産業機器事 業	光デバイス 事 業	計	消去	連結
売上高及び営業損益 売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2) セゲメント間の内部売上高又は振替高	38, 081 0	28, 837 0	7, 504 0	5, 618 0	80, 040 0	0 0	80, 040 0
計	38, 081	28, 837	7, 504	5, 618	80, 040	0	80, 040
営業費用	31, 256	24, 845	7, 666	6, 234	70, 003	0	70, 003
営業利益又は営業損失(△)	6, 824	3, 991	△162	△616	10, 037	0	10, 037

### 当第3四半期(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	ホ゜シ゛ショニンク゛ ヒ゛シ゛ネス	アイケアヒ゛シ゛ネス	ファインテック ヒ゛シ゛ネス	計	消去	連結
売上高及び営業損益 売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2) セグメント間の内部売上高又は振替高	39, 770 0	31, 154 0	14, 086 0	85, 011 0	0	85, 011 0
計	39, 770	31, 154	14, 086	85, 011	0	85, 011
営業費用	34, 775	27, 013	14, 762	76, 551	0	76, 551
営業利益又は営業損失 (△)	4, 994	4, 141	△675	8, 460	0	8, 460

### 前期(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

	測量機器 事 業	医用機器 事 業	産業機器事 業	光デバイス 事 業	計	消去	連結
売上高及び営業損益 売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2) セグメント間の内部売上高又は振替高	53, 631 0	38, 464 0	11, 313 0	7, 080 0	110, 490 0	0 0	110, 490 0
計	53, 631	38, 464	11, 313	7, 080	110, 490	0	110, 490
営業費用	43, 403	32, 678	11, 125	8,006	95, 214	0	95, 214
営業利益又は営業損失 (△)	10, 227	5, 786	188	△926	15, 276	0	15, 276

### (注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分は、製品の種類・市場等を考慮して区分しております。

#### 2. 各事業区分の主要製品

- (1) ポジショニングビジネス…測量用GPS+GLONASS+GALILEO (GNSS) 受信機、GN SS固定点システム、GNSS自動観測システム、GNSSネットワークサービスPac ket RTK、MILLIMETER GPS、デジタル写真測量システム、土木用マシンコントロールシステム、トータルステーション (ノンプリズムトータルステーション、自動追尾トータルステーション、画像トータルステーション)、データーコレクタ、レベル、セオドライト、ローテーティングレーザー、パイプレーザー
- (2) アイケアビジネス…眼底カメラ、無散瞳眼底カメラ、3次元眼底像撮影装置、眼圧計、スリットランプ、 手術用顕微鏡、眼科用レーザ光凝固装置、角膜内皮細胞撮影装置、デジタル画像ファイリ ングシステム I MAGEnet、眼科電子カルテシステム I MAGEnet eカルテ、P SFアナライザ、メガネレンズ加工機、視力検査装置、ビノビジョンアナライザー、オートレフラクトメータ、オートケラトレフラクトメータ、レンズメーター、屈折検査システム
- (3) ファインテックビジネス…チップ外観検査装置、ウェーハ用電子ビーム検査装置、マスク用電子ビーム 検査装置、電子ビームユニット、ウェーハ表面検査装置、精密光学ユニット、プロキシミ ティ露光装置、分光放射計、色彩輝度計、照度計、紫外線強度計、輝度・色度ユニフォミ ティ測定装置、走査電子顕微鏡、測定顕微鏡、投影機、特需品、プロジェクター用光学ユニット、DVD光ピックアップ用光学部品、複写機用光学ユニット、高精度レンズ、赤外光学部品

3. 当社グループは、これまで「測量機器事業」・「医用機器事業」・「産業機器事業」・「光デバイス事業」という、4つのセグメントにより事業を行ってまいりましたが、平成19年4月1日付をもって、(1) グローバルに展開している事業の実態を、より良く反映するため、「測量機器事業」を「ポジショニングビジネス」に、「医用機器事業」を「アイケアビジネス」に、それぞれ名称を改めるとともに、(2)「産業機器事業」と「光デバイス事業」を、事業分野の絞り込み等を通じて、その収益体質を確立するために、統合し、その名称を「ファインテックビジネス」とし、合わせて、3つの事業セグメントに変更をいたしました。

なお、前第3四半期および前期において、当第3四半期の事業区分によった場合の事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります。

前第3四半期(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	ポ゚ジショニンク゛ ビジネス	アイケアヒ゛シ゛ネス	ファインテック ヒ゛シ゛ネス	計	消去	連結
売上高及び営業損益 売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2) セグメント間の内部売上高又は振替高	38, 081 0	28, 837 0	13, 122 0	80, 040 0	0	80, 040
計	38, 081	28, 837	13, 122	80, 040	0	80, 040
営業費用	31, 256	24, 845	13, 901	70, 003	0	70, 003
営業利益又は営業損失(△)	6, 824	3, 991	△778	10, 037	0	10, 037

前期(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

	ポ゚ジショニング ビジネス	アイケアヒ゛シ゛ネス	ファインテック ビジネス	計	消去	連結
売上高及び営業損益 売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2) セグメント間の内部売上高又は振替高	53, 631 0	38, 464 0	18, 394 0	110, 490 0	0	110, 490 0
計	53, 631	38, 464	18, 394	110, 490	0	110, 490
営業費用	43, 403	32, 678	19, 132	95, 214	0	95, 214
営業利益又は営業損失 (△)	10, 227	5, 786	△737	15, 276	0	15, 276

### 〔所在地別セグメント情報〕

### 前第3四半期(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	北米	ヨーロッハ゜	中国	アシ゛ア オセアニア	消去	連結
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	27, 924	24, 576	19, 546	5, 461	2, 531	0	80, 040
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15, 561	3, 967	36	468	10	(20,044)	0
計	43, 485	28, 544	19, 582	5, 930	2, 542	(20,044)	80, 040
営業費用	38, 955	23, 641	18, 913	6,014	2, 464	(19, 986)	70, 003
営業利益又は営業損失(△)	4,530	4, 902	668	△84	77	(57)	10, 037

#### 当第3四半期(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	北米	ヨーロッハ゜	中国	アシ゛ア オセアニア	消去	連結
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	27, 966	23, 247	25, 288	5, 509	2, 999	0	85, 011
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	18, 017	4,658	13	827	173	(23,690)	0
計	45, 983	27, 906	25, 301	6, 337	3, 173	(23,690)	85, 011
営業費用	42,890	24, 628	23, 580	5, 920	3, 089	(23, 558)	76, 551
営業利益	3,092	3, 278	1,721	416	84	(132)	8, 460

### 前期(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

1377 (1) 177 177 177	(10   0)1	01 11/				(-1-1-	T . D /3   1/
	日本	北米	ヨーロッハ゜	中国	アシ゛ア オセアニア	消去	連結
売上高及び営業損益 売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	39, 054	33, 775	27, 334	6, 842	3, 483	0	110, 490
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	21, 320	5, 121	3	771	108	(27, 325)	0
計	60, 374	38, 896	27, 338	7,614	3, 592	(27, 325)	110, 490
営業費用	53, 525	32, 567	25, 827	7, 875	3, 528	(28, 110)	95, 214
営業利益又は営業損失(△)	6, 849	6, 329	1,510	△261	63	(△784)	15, 276

- (注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。
  - 2.「日本」以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
    - (1) 北米 米国、カナダ
    - (2) ヨーロッパ オランダ、ドイツ、フランス、英国、スペイン、スウェーデン、ポーランド
    - (3) 中国 中国
    - (4) アジア・オセアニア シンガポール、オーストラリア

### [海外売上高]

### 前第3四半期(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッハ゜	中国	アシ゛ア オセアニア	その他	計
I 海外売上高	21, 408	19, 456	6,010	5, 852	6, 369	59, 098
Ⅱ 連結売上高						80, 040
Ⅲ 連結売上高に占める海外売上高の割合	26. 7%	24. 3%	7. 5%	7. 3%	8.0%	73.8%

### 当第3四半期(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッハ゜	中国	アシ゛ア オセアニア	その他	計
I 海外売上高	18, 510	24, 988	6, 539	7, 320	6, 930	64, 289
Ⅱ 連結売上高						85, 011
Ⅲ 連結売上高に占める海外売上高の割合	21. 8%	29. 4%	7. 7%	8.6%	8. 2%	75. 6%

### 前期(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッハ゜	中国	アシ゛ア オセアニア	その他	計
I 海外売上高	29, 041	27, 093	7,870	8, 198	8, 371	80, 575
Ⅱ 連結売上高						110, 490
Ⅲ 連結売上高に占める海外売上高の割合	26. 3%	24. 5%	7. 1%	7. 4%	7. 6%	72.9%

- (注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。
  - 2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米 米国、カナダ

(2) ヨーロッパ オランダ、ドイツ、フランス、英国、スペイン、スウェーデン、ポーランド

(3) 中国 中国

(4) アジア・オセアニア シンガポール、台湾、オーストラリア

(5) その他 中南米、中東、ロシア、アフリカ

# (参考)

# 四半期財務諸表

# 1. 四半期貸借対照表

_							(手位:	白力円)
期別	当第3四	半期	前期		増	咸	前第3四	半期
科目	平成19年12月	31日現在	平成19年 3月	31日現在	т н		平成18年12月	31日現在
	金 額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
流動資産	(39, 655)	55.4	(40, 534)	55.0	(△879)	$\triangle 2.2$	(37,006)	52.8
現金及び預金	3, 091		2, 406		685		1, 864	
受 取 手 形	2, 057		1, 351		706		1, 646	
売 掛 金	14, 164		15, 444		$\triangle 1,280$		13, 156	
たな卸資産	8, 569		7, 942		627		8, 444	
繰 延 税 金 資 産	2, 139		2, 126		13		1, 890	
短 期 貸 付 金	7, 641		8, 292		△651		8, 292	
そ の 他	1, 997		2, 977		△979		1, 716	
貸 倒 引 当 金	△7		$\triangle 7$		-		$\triangle 6$	
固定資産	(31, 923)	44. 6	(33, 114)	45. 0	(△1, 191)	△3.6	(33, 125)	47. 2
有 形 固 定 資 産	(6,508)	9. 1	(6, 441)	8.8	(66)	1.0	(6, 610)	9. 4
建物	3, 540		3, 639		△98		3, 691	
機 械 及 び 装 置	1, 260		1, 316		$\triangle 56$		1, 335	
工具器具及び備品	1, 292		1,040		251		1, 153	
そ の 他	414		444		△29		429	
無形固定資産	(1, 314)	1.8	(1, 419)	1. 9	(△104)	△7. 4	(1, 394)	2.0
のれん	603		804		$\triangle 201$		871	
そ の 他	711		614		96		522	
投資その他の資産	(24, 100)	33. 7	(25, 253)	34. 3	$(\triangle 1, 152)$	△4. 6	(25, 120)	35.8
投 資 有 価 証 券	5, 261		6, 897		$\triangle 1,635$		6, 880	
関係会社株式	16, 724		16, 724		0		16, 724	
関係会社出資金	257		257		0		257	
繰 延 税 金 資 産	1, 469		979		489		857	
そ の 他	409		398		10		406	
貸 倒 引 当 金	△21		$\triangle 4$	_	△17		$\triangle 6$	
資 産 合 計	71, 578	100.0	73, 648	100.0	△2,070	△2.8	70, 132	100.0

							(単位:	百万円)
期別	当第3四	半期	前期		増	减	前第3四	半期
_	平成19年12月3	31日現在	平成19年 3月	31日現在	· 日 1	<i>)</i> -52,	平成18年12月3	31日現在
科目	金額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
( 負 債 の 部 )		%		%		%		%
流動負債	(22, 516)	31.5	(24, 341)	33.0	$(\triangle 1, 824)$	△7.5	(19, 104)	27. 2
支 払 手 形	388		322		65		516	
買掛金	7, 837		8, 579		$\triangle 742$		8, 274	
短 期 借 入 金	10, 270		9, 770		500		5, 370	
未 払 費 用	2, 561		3, 056		△494		2, 252	
未 払 法 人 税 等	276		1, 697		$\triangle 1,421$		716	
役員賞与引当金	19		46		$\triangle 27$		34	
そ の 他	1, 164		868		296		1, 939	
固定負債	(5, 369)	7. 5	(5, 439)	7. 4	(△69)	△1.3	(9, 582)	13. 7
長 期 借 入 金	500		100		400		4, 100	
退職給付引当金	4, 791		5, 225		△433		5, 376	
役員 退職 慰労引当金	77		113		△35		105	
負 債 合 計	27, 886	39. 0	29, 780	40. 4	△1,894	△6. 4	28, 686	40. 9
(純資産の部)								
株 主 資 本	(41, 883)	58. 5	(41, 089)	55.8	(793)	1.9	(38, 676)	55. 2
資 本 金	10, 297	14. 4	10, 297	14.0	0		10, 297	14.7
資本剰余金	(14, 711)	20.6	(14, 711)	20.0	(0)		(14, 711)	21.0
資 本 準 備 金	12, 787		12, 787		0		12, 787	
その他資本剰余金	1, 924		1, 924		0		1, 924	
利益剰余金	(16, 928)	23. 7	(16, 132)	21. 9	(796)	4. 9	(13, 718)	19.6
利 益 準 備 金	571		571		0		571	
その他利益剰余金	(16, 356)		(15, 560)		(796)		(13, 146)	
別途積立金	13, 582		9, 182		4, 400		9, 182	
操越利益剰余金	2, 774		6, 378		$\triangle 3,603$		3, 964	
自己株式	△54	△0.1	△51	△0.1	$\triangle 2$	5. 3	△51	△0.1
評価・換算差額等	(1, 809)	2.5	(2,778)	3.8	(△969)	△34. 9	(2,768)	3.9
その他有価証券評価差額金	1, 809		2, 778		△969		2, 768	
純 資 産 合 計	43, 692	61.0	43, 868	59. 6	△175	△0.4	41, 445	59. 1
負債・純資産合計	71, 578	100.0	73, 648	100.0	△2, 070	△2.8	70, 132	100.0

# 2. 四半期損益計算書

										(単位:	<u>日刀円)</u>
		期	別	前第32	1半期	当第32	ロ半期			前其	朝
		7.41	73.3	自 平成18年	4月 1日	自 平成19年	4月 1日	増	減	自 平成18年	4月 1日
科	1			至 平成18年	-12月31日	至 平成19年	-12月31日			至 平成19年	3月31日
				金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
					%		%		%		%
売	上		高	35, 564	100.0	38, 487	100.0	2, 922	8. 2	49, 374	100.0
売	上	原	価	24, 397	68.6	27, 462	71. 4	3, 065	12.6	34, 111	69. 1
売	上 総	利	益	11, 167	31. 4	11,024	28.6	$\triangle 143$	$\triangle 1.3$	15, 263	30. 9
販 売	豊費及び一	般 管	理費	7, 813	22.0	8, 742	22.7	929	11.9	10, 546	21. 3
営	業	利	益	3, 354	9. 4	2, 282	5. 9	$\triangle 1,072$	△32.0	4, 717	9. 6
営	業外	収	益	(1, 915)	5. 4	(1, 561)	4. 1	(△354)	△18.5	(2,748)	5. 6
受	取利息及	び配	当 金	1,826		1, 449		△377		2, 615	
為	替	差	益			21		21			
雑	収		益	88		89		1		133	
営	業外	費	用	(417)	1.2	(349)	0.9	(△67)	△16. 3	(715)	1. 5
支	払	利	息	80		97		16		110	
為	替	差	損	43				78		80	
雑	損	l	失	293		129		△163		524	
経	常	利	益	4, 852	13.6	3, 494	9. 1	△1, 358	△28. 0	6, 749	13. 7
特	別	利	益	(448)	1.3	(0)	0.0	(△448)		(1, 392)	2.8
投	資損失引	当金取	崩益	448		0		△448		448	
関	係 会 社	清	算 益	0		0		0		944	
税引育	前第3四半期	(当期)	純利益	5, 300	14. 9	3, 494	9. 1	△1,806	△34. 1	8, 142	16. 5
法人	税、住民税	及び事	業税	1, 227	3. 5	590	1.6	△637	△51.9	2,020	4. 1
法	人 税 等	調	整額	108	0.3	162	0.4	54	50.0	△255	△0.5
第 3	四半期(当	期)糾	<b></b> 毛利益	3, 965	11. 1	2, 741	7. 1	△1, 223	△30. 9	6, 378	12. 9

### 3. 四半期株主資本等変動計算書

前第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:百万円)

					株主	資本					評価・換		
		Ĭ	資本剰余金	È		利益乗	自余金						
			2014	次士		その他利	益剰余金	和米		株主資	その他 有価証券	評価・ 換算	純資産
	資本金	資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益準備金	別途 積立金	繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計	自己株式	本合計	評価差額金	差額等合計	合計
平成18年3月31日 残高	10, 297	12, 787	1, 924	14, 711	571	6, 182	4, 851	11,605	△49	36, 565	3, 198	3, 198	39, 763
第3四半期中の変動額													
剰余金の配当							△1,852	△1,852		△1,852			△1,852
別途積立金の積立て						3,000	△3,000	0		0			0
第3四半期純利益							3, 965	3, 965		3, 965			3, 965
自己株式の取得									△1	$\triangle 1$			△1
株主資本以外の項目の 第3四半期中の変動額(純額)											△429	△429	△429
第3四半期中の変動額 合計	0	0	0	0	0	3,000	△887	2, 112	△1	2, 110	△429	△429	1,681
平成18年12月31日 残高	10, 297	12, 787	1, 924	14, 711	571	9, 182	3, 964	13, 718	△51	38, 676	2, 768	2, 768	41, 445

当第3四半期(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

					株主	資本					評価・換	算差額等	
		Ž	資本剰余金	È		利益乗	自余金						
	N= 1 A		その他	資本		その他利	益剰余金	利益		株主資	その他 有価証券	評価・ 換算	純資産 合計
	資本金	資本 準備金	資本 剰余金	東本 剰余金 合計	利益準備金	別途 積立金	繰越 利益 剰余金	利金利余金合計	自己株式	本合計	評価差額金	差額等合計	合計
平成19年3月31日 残高	10, 297	12, 787	1, 924	14, 711	571	9, 182	6, 378	16, 132	△51	41, 089	2, 778	2, 778	43, 868
第3四半期中の変動額													
剰余金の配当							△1,945	△1,945		△1,945			△1,945
別途積立金の積立て						4, 400	△4, 400	0		0			0
第3四半期純利益							2, 741	2, 741		2, 741			2, 741
自己株式の取得									△2	$\triangle 2$			$\triangle 2$
株主資本以外の項目の 第3四半期中の変動額(純額)											△969	△969	△969
第3四半期中の変動額 合計	0	0	0	0	0	4, 400	△3,603	796	$\triangle 2$	793	△969	△969	△175
平成19年12月31日 残高	10, 297	12, 787	1, 924	14, 711	571	13, 582	2, 774	16, 928	△54	41,883	1,809	1,809	43, 692

前期(自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)

												(平位.	日カ門)
					株主	資本					評価・換	算差額等	
		Ĭ	資本剰余金	È		利益東	制余金						
			7 00 114	7/10		その他利	益剰余金	Til 24		株主資	その他 有価証券	評価・ 換算	純資産
	資本金	資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益準備金	別途積立金	繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計	自己株式	本 合計	評価差額金	差額等合計	合計
平成18年3月31日 残高	10, 297	12, 787	1, 924	14, 711	571	6, 182	4, 851	11,605	△49	36, 565	3, 198	3, 198	39, 763
当期中の変動額													
剰余金の配当							△1,852	△1,852		△1,852			△1,852
別途積立金の積立て						3,000	△3,000	0		0			0
当期純利益							6, 378	6, 378		6, 378			6, 378
自己株式の取得									$\triangle 2$	$\triangle 2$			$\triangle 2$
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)											△419	△419	△419
当期中の変動額 合計	0	0	0	0	0	3,000	1, 526	4, 526	$\triangle 2$	4, 523	△419	△419	4, 104
平成19年3月31日 残高	10, 297	12, 787	1, 924	14, 711	571	9, 182	6, 378	16, 132	△51	41, 089	2, 778	2,778	43, 868